BD-1200

涼風暖房機（浴室用） 壁面取付タイプ

工事説明書　　販売店・工事店さま用

0410A

取付工事を始める前に必ずこの工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店・工事店さま（電気工事有資格者）が実施してください。（お客さま自身で工事しないでください）

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限など）がありますので、詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。

別冊の取扱説明書はお客さま用です。必ずお渡しください。

●取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客さまに使用方法、お手入れ方法を説明してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
■ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。
■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。

⚠	この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
⊘	この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
❗	この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な強制内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠ 警告

- 浴室壁面取付専用の涼風暖房機です。浴室以外の場所には取付けしない。
  感電・火災・故障の原因になります。
- 取付けは、お買い上げの工事店または専門業者に依頼し確実におこなう。
  ご自分で取付工事をされ不備があると感電や火災・落下の原因になります。
- 本体の電源接続は、浴室内で絶対におこなわない。
  感電や火災の原因になります。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理はおこなわない。
  発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
- 本体やリモコンの改造は絶対におこなわない。
  発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取付ベース板固定ネジが電気的に接触しないよう取付ける。
  漏電した場合発火することがあります。
- アース（D種接地）を確実に取付け、漏電遮断器を設置する。
  故障や漏電のときに感電することがあります。
- 運転中に本体から異常や異臭が感じられたら、使用を中止し分電盤の専用ブレーカーを切る。
  異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。
- 交流100ボルト以外では使用しない。
  爆発や火災の原因になります。
- 有機溶剤やスプレーを本体の近くに置かない。
  火災や故障の原因になります。
- コンセントおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない。
  漏電、感電や火災の恐れがあります。
- 本体やリモコンに直接水やお湯、カビ取り剤などをかけない。
  故障や感電することがあります。
- リモコンは、床や浴槽に落とさない。
  故障の原因になります。
- ヒーターの熱を直接受ける場所に造営物が無い事を確認する。
  火災や故障・変形や変色・変質の原因になります。

⚠ 注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実におこなう。
  接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
- 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実におこなう。
  落下により、けがをする恐れがあります。
- 本体の取付けは本紙「取付けのご注意」を守る。
  火災の恐れがあります。
- 部品の取付けは確実におこなう。
  落下により、けがをする恐れがあります。
- 強い振動や衝撃を与えない。
  カーボンランプヒーターが破損し、感電やガラス破片によりけがの原因になります。
- カーボンランプヒーターを指などで触らない。
  ヒーターの寿命が短くなったり、故障や破損、やけどの原因になります。

お願い

油煙、タバコの煙の多い場所に取付けないでください。
故障の原因になります。

温泉に取付けないでください。
故障の原因になります。

高温になる場所に取付けないでください。
モーターの寿命を早めたり、故障の原因になります。

スチームサウナ付きの浴室に取付けないでください。
故障の原因になります。

効果的な暖房をするため、ドア・空気取入口（ガラリ）や窓を閉めてください。

カーボンランプヒーターを棒などで触らないでください。
破損の原因になります。

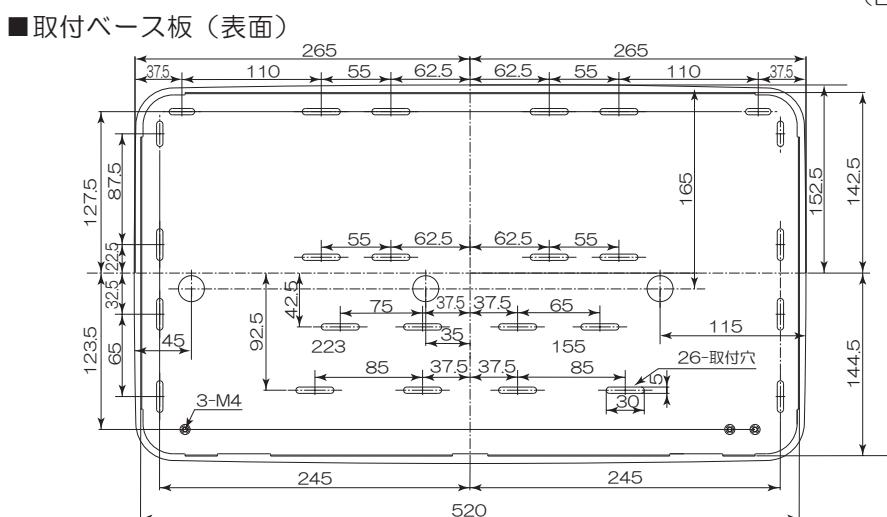
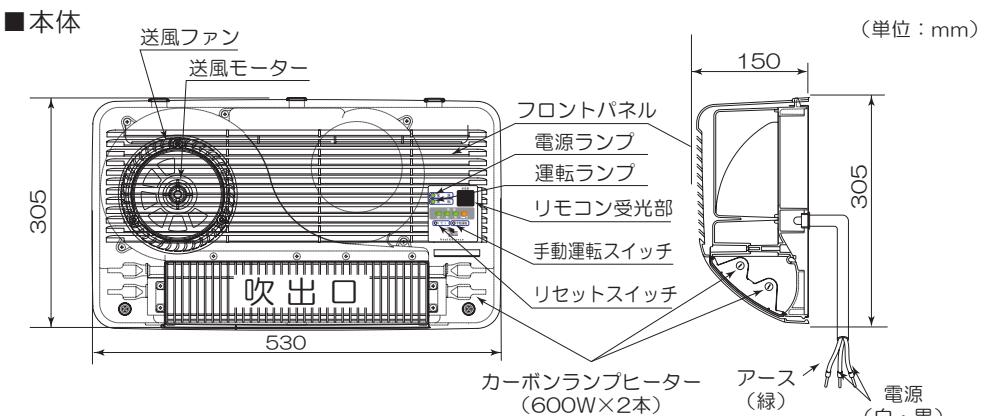
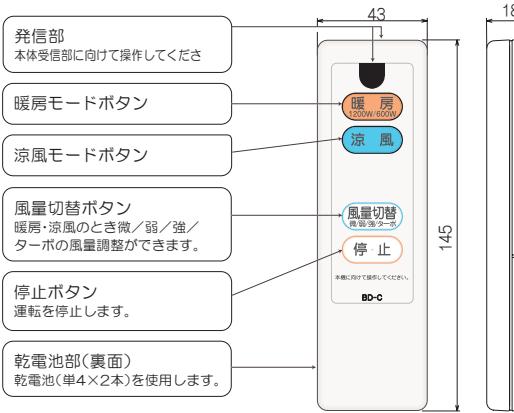
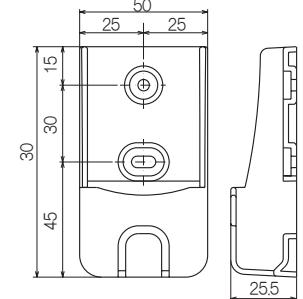
本体が傾かないように設置してください。
ヒーターの寿命を早めたり、故障の原因になります。

リモコンは、生活防水構造となっております。浴室内の設置も可能となっておりますが、浴槽の上や直接水やお湯がかかる場所に設置しないでください。

取付けのご注意

■この本体は、浴室の壁面取付専用です。
　浴室以外の場所、天井面への取付けはしないでください。
■気密性や断熱性が悪い浴室では、性能が十分発揮できない場合があります。とくにモルタル・タイル壁、窓が大きいなどの在来工法の浴室は、ユニットバスに比べ断熱性能が著しく低い場合があり室温が上昇しにくくなります。
　したがってユニットバスへの取付けの場合と比べて性能が大きく劣ることがあります。
　●この様な場所にやむを得ず取付ける場合は、お客様に十分ご説明ください。
■カーボンランプヒーターの輻射熱が洗い場に向くよう取付位置を決めてください。
　●洗い場の人が座る位置に取付位置を決めてください。
■この浴室暖房機の質量は約5.0kgです。
　●取付ける壁面は十分に強度のあることを確認してください。
　　十分な強度がない場合、補強工事を行ってください。
■本体の取付けには、各種制限や法規制など受けますので下記の点にご注意ください。
　●浴室内への温風吹出口および空気吸込口の前方には、造営物などを設けないでください。
　●アース（D種接地）を確実に取付け、漏電遮断器を設置してください。

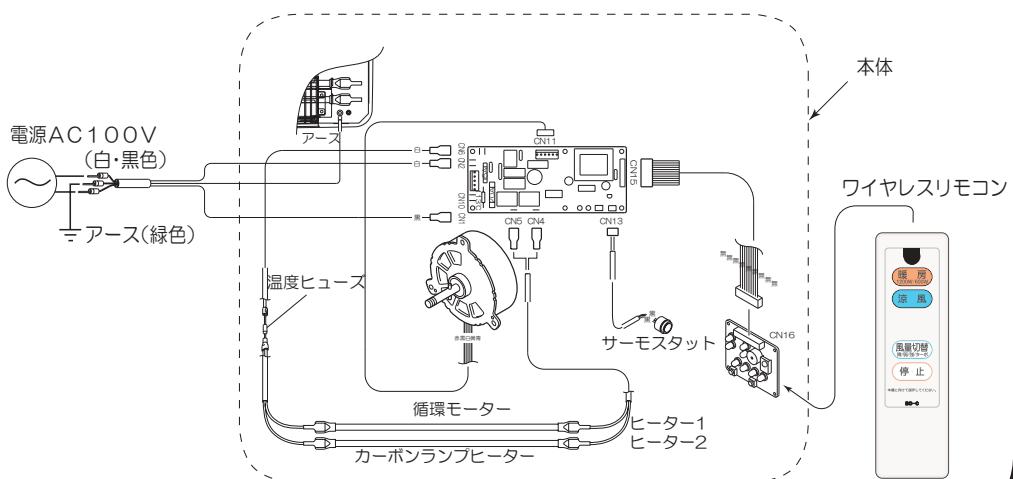
外形寸法と各部の名称

■本体　　（単位：mm）

■取付ベース板（表面）

■ワイヤレスリモコン（生活防水構造）　■リモコンホルダー

■付属品

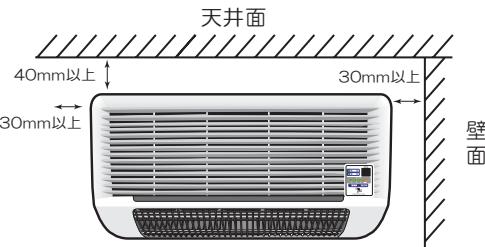
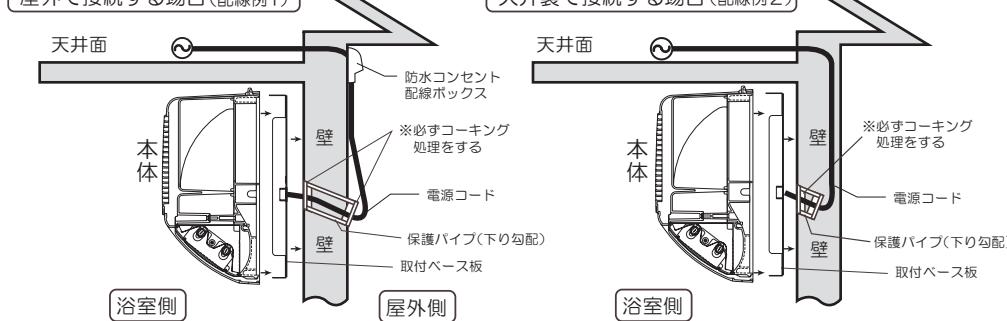
取付ベース板固定ねじ・・・・・・・4本	取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1冊（必ずお客さまにお渡しください）
リモコンホルダー取付ねじ・・・・・2本	工事説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1部（必ずお客さまにお渡しください）
単4乾電池・・・・・・・・・・・・2本	保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・1冊（必ずお客さまにお渡しください）
電源接続用クランプコネクター・・・3個	

■必要に応じて現場で用意するもの

●配線コード（VVFφ2.0以上）　●補強材　●スペーサー（別売、BD-SP20）
●アース線　●電源用ブレーカー（20A）　●ボードアンカー
●アース棒　●漏電遮断器
●防水コネクター　●保護パイプ

■結線図

取付方法

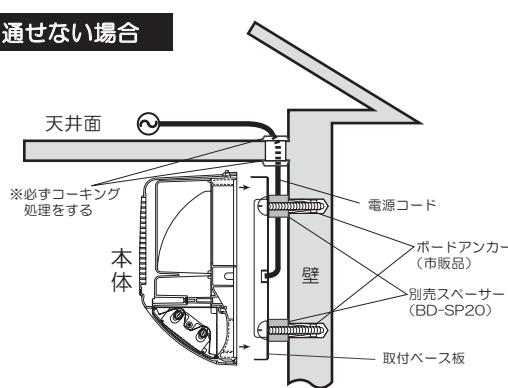
1 取付位置の確認

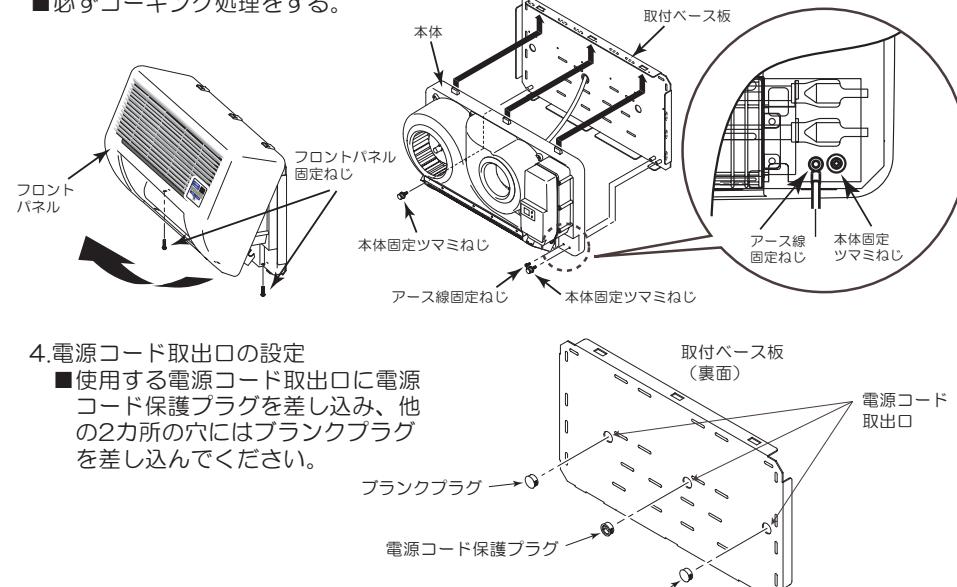
1.取付可能な寸法の確認
天井面から40mm以上、両側壁面から30mm以上離して取付けできることを確認してください。

2.電源接続方法の決定

電源コードが屋外または、壁の内側に通せない場合

別売スペーサー(BD-SP20)を使って取付けます。

取付方法については、別売スペーサーの取扱説明書を参照してください。

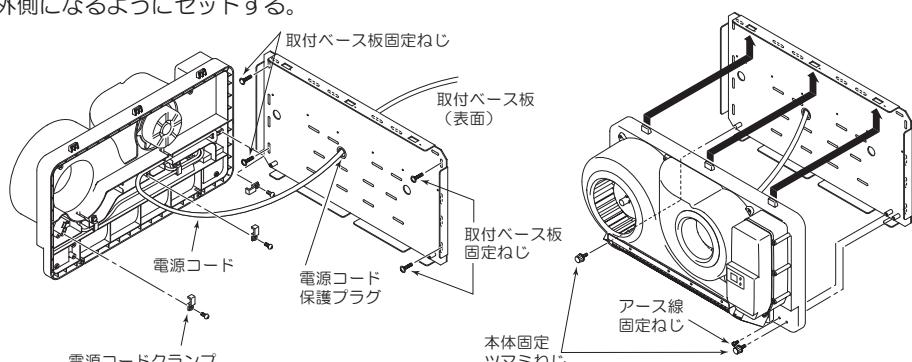
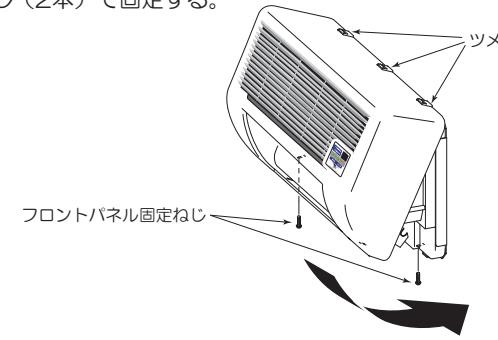
※電源コードを露出配線する場合は、モールで保護してください。

天井面
※必ずコーキング処理をする
本体
壁
電源コード
ボードアンカー(市販品)
別売スペーサー(BD-SP20)
取付ベース板

1.フロントパネル・本体・取付ベース板を外す。
（1）パネル固定ねじ2本を外しパネルを上に持ち上げながら本体のツメより外す。
（2）アース線固定ねじ1本を外す。
（3）本体固定ツマミねじ2本を外す。
（4）本体と取付ベース板を分離する。
2.取付ベース板の取付位置を決める。
3.電源コード通し穴（内径φ15以上の保護パイプを付ける）を開けてください。
■必ずコーキング処理をする。

4.電源コード取出口の設定
■使用する電源コード取出口に電源コード保護プラグを差し込み、他の2カ所の穴にはブランクプラグを差し込んでください。

3 本体の取付

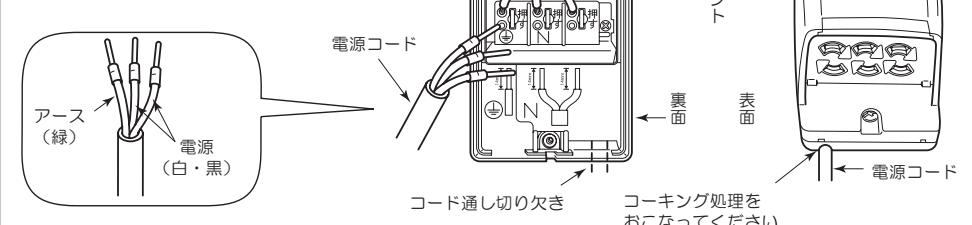
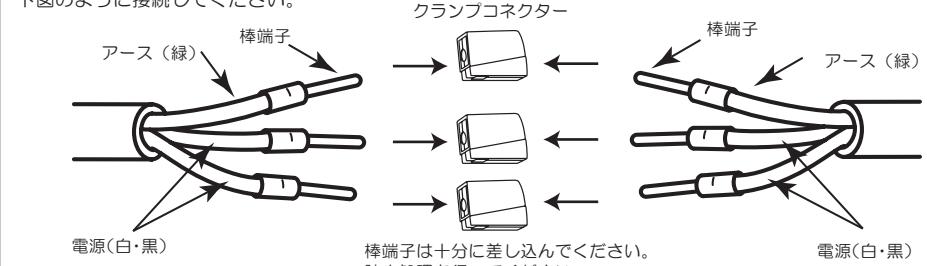
1.取付ベース板の固定
■ねじ穴は必ずコーキング処理をおこなう。
■付属の固定ねじ4本で確実に固定する。(必要に応じてボードアンカーを使用する)

⚠注意	**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実におこなう。** 落下により、けがをする恐れがあります。
	ねじが固定しにくい場合は市販のプラスチックのボードアンカー、補強材等を使用する。 落下により、けがをする恐れがあります。

2.電源コード取出口に合わせて、電源コードを電源コードクランプで固定してください。
3.本体のツメ(3カ所)を取付ベース板に差し込み、取付ベース板の枠内に本体を納める。
4.本体固定ツマミねじ(2カ所)で本体を固定する。
■電源コードを挟み込まないように注意してください。
5.アース線を固定ねじ1本で固定する。
6.フロントパネルの引っ掛け穴を本体部分のツメに引っ掛け、下側にずらして取付ベース板の枠の外側になるようにセットする。

7.フロントパネル固定用ねじ（2本）で固定する。

⚠警告	**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物にねじ止めをする時、固定ねじがメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付ける。** 漏電した場合発火することがあります。

4 電源の接続

注意事項
■必ず専用電源ブレーカーを使用して、20A以上を確保できるようにしてください。
やむを得ず他の機器と共用する場合でも、同時に運転した際に許容範囲内であることを確認してください。
この場合は、点検の際に他の機器も電源を切ることになります。
■緑色リード線を必ずアース接続工事をしてください。
（D種接地工事）
■分電盤等からの電源工事は必ず有資格者が作業を行ってください。
■配線コードはＶＶＦφ2.0以上か同等品の2〜3芯を使用してください。
細い芯線のコードを使用すると、発熱により発火の恐れがあります。
■端子の接続部は、絶対に濡らさないよう防水処理を行ってください。
■電源コンセントは、絶対に使用しないでください。
■電源は必ずＡＣ100Ｖを使用して、確実に配線を行ってください。
間違った電源を使用したり不十分な配線をすると、火災や故障の原因となります。
■本体の電源接続は、浴室内で絶対に行わないでください。
感電や火災の原因になります。

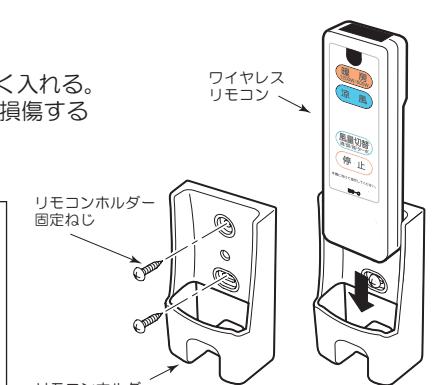
【配線例1】
防水コンセントに接続する場合
電源コードに付いている棒端子を直接防水コンセント裏側の速結端子台に接続してください。

【配線例2】
コード同士を接続する場合
付属のクランプコネクターを使用して下図のように接続してください。

⚠警告	禁止 **電源コードおよび棒端子は絶対に切断しない。** 漏電、感電や火災の恐れがあります。

《壁スイッチを経由した現行の電源を利用する場合の注意》
●本機は電気容量最大約1235wを必要としますので、壁スイッチを電源スイッチとしては使用しないでください。火災や故障の原因になります。
●この場合は、必ず壁スイッチの配線を取り外して直結してください。

⚠警告	禁止 **コンセントプラグおよび換気扇用のスイッチは絶対に使用しない。** 漏電、感電や火災の恐れがあります。

5 リモコンホルダーの取付

1.リモコンホルダーを付属の固定ねじ2本で固定する。
ねじ穴には必ずコーキング処理をする。
2.ワイヤレスリモコンに付属の乾電池2本を⊕⊖を正しく入れる。
3.フタをきちっと閉めないと水などが入り、リモコンを損傷する恐れがあります。
4.ワイヤレスリモコンをリモコンホルダーに差し込む。

取付位置の決定
(取付位置はお客様とご相談のうえ、決定してください)
【浴室内設置の場合】
浴室内に設置する場合は、シャワー等の水がかからない場所に設置してください。浴槽付近に取付けないでください。

6 試運転

■取付工事終了後、正しく結線されているか確認してください。
■取扱説明書を参照して、お客さま立ち会いで試運転を行い、異常がないか確認してください。
1.本体は確実に取付けられているか？
2.ワイヤレスリモコンを操作して、取扱説明書どおり動作するか？
3.運転中に振動や異常音がしないか？
■引き渡しまで期間があく場合は、試運転確認後、専用電源ブレーカーを切り、ワイヤレスリモコンの電池を抜き、本書、取扱説明書、保証書とともにお客さまにお渡しください。